

「菱田小学校の銭太鼓 伝承活動の取組」

1. 学校名	大崎町立菱田小学校
2. 学年・人数	5・6年生 12人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年7月～9月 総合的な学習の時間(菱田農村改善センター) (2) 発表の日時・場所 令和6年10月27日(日) 校区合同秋季大運動会 菱田小学校 令和6年11月16日(土) 創立百五十周年記念式典 菱田小学校 令和6年12月8日(日) Jazz & サーカスコンサート 大丸小学校
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 銭太鼓(ぜにだいこ) (2) 由来 菱田校区の東新町、西新町の方々が受け継いできた伝統芸能 (3) 構成等 ベニヤ板に座り、おはら節やソーラン節の曲に合わせて、銭を入れたバチを回したり、バチを板にたたきつけたりしながら演舞する。曲によって、踊りを変え、本番は法被を着て踊る。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	地域で行っていた銭太鼓の火が消えていたので、令和2年度から学校の教育活動の中に位置付け、銭太鼓の伝承を行うこととした。銭太鼓を受け継いできた地域の方に演舞の指導をお願いし、令和2年度は学習発表会で6年生が発表した。令和3年度からは、秋季大運動会での高学年の表現として発表している。新型コロナウイルス感染症の影響で運動会が縮小される中でも、銭太鼓を愛する地域の方々や子供たちの思いや願い途切れることなく発表している。指導者は、地域の方々に依頼し、学校と地域が連携協力しながら銭太鼓を継承していくために、コミュニティスクール運営協議会とも連携を図り、今後も継続して銭太鼓を伝承していける体制を整えている。
6. 取組の様子(練習状況、発表の場等)	令和5年度から地域の祭りでも、発表の場を設定している。また、本校は、令和6年度に創立150周年を迎え、記念式典でこれまで受け継いできた児童生徒(小5～高2)が集い、銭太鼓のアトラクションを実施した。また、芸術家派遣事業で群馬県からやってきたJazz & サーカスグループとコンサートでコラボレーションした。    創立 150 周年 Jazz & サーカスコンサート 校区合同秋季大
7. 感想・意見(参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	【5・6年生児童生徒】 ・Jazz & サーカスコンサートで、一緒に演舞できたことが楽しかった。 ・地域の方々に教えてもらいながらこれからも続けていきたいと思います。 【教職員】 ・地域の方々と連携しながらずっと学校で継承していきたい。 ・低学年の子供たちが早く銭太鼓をしたいと話しているのを聞いて、継続することが大切だと思った。 【保存会から】 ・子供たちと銭太鼓に取り組むことで、学校と地域のつながりを実感している。今後も子供たちが菱田に誇りをもち、継承できるように関わりたい。 【地域の方から】 ・地域とともに子供たちに伝承し、活躍の場がもっと広がればいい。